

令和6年度の委員会運営方法について

1 付議事件

都市の成長の基盤を支える魅力と活力ある郊外部のまちづくりに関すること。

(参考：直近5か年の調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和5年度	郊外部における持続可能な社会の実現による横浜の魅力づくりについて
令和4年度	郊外部にある観光資源の魅力とその情報発信について
令和3年度	新たな生活志向に基づいた選ばれる郊外部について
令和2年度	郊外部における地域の価値を高める仕組みづくりについて
令和元年度	郊外部を活性化させる持続可能な地域交通について

2 市会運営委員会（平成24年5月8日開催）での特別委員会運営方法に関する決定事項

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和6年度調査・研究テーマ案

「郊外部における公民連携の取組及び地域コミュニティの活性化等によるまちづくりの推進について」

(テーマ選定理由)

令和6年3月にまとめられた横浜市の将来人口推計によると、本市全体の人口は今後も減少が続く中、鶴見区・神奈川区・西区・中区・港北区の5区においては、2070年時点で2020年の人口を上回っているものの、それ以外の13区においては人口が減少すると推計されている。

今後、本市の人口が減っていく中で、本委員会の付議事件でもある、都市の成長の基盤を支えていくには、行政だけでなく地域の人々や民間事業者、教育機関等の多様な主体と連携し、生活支援機能の確保やコミュニティの充実等を図るとともに、様々な世代が豊かに暮らし続けられるよう、郊外部を支えていくことが重要であると考えている。

以上を踏まえ、今年度においては郊外部における公民連携の取組及び地域コミュニティの活性化等によるまちづくりの推進についてというテーマで調査研究を行うこととしたい。